

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.kagyoren.jf-net.ne.jp/>



JF 高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF 香川漁連

かん水組合通常総会開催

8 月 2 日（金）漁連会館 6 階大会議室において香川県かん水養殖漁業協同組合第 5 6 回通常総会が開催されました。高野組合長の挨拶の後、来賓として香川県水産課柏山課長が挨拶を述べられました。



高野組合長の挨拶

牟礼漁協の平田孝氏を議長に選任し、上程された 1 号議案から 6 号議案まで全て原案通り可決承認されました。

また、総会終了後、研修会が開催されました。この研修会は毎年開催されており、養殖技術の研鑽を図る有意義な会となっています。

研修会は、中島水産㈱営業企画部 田中修氏による「養殖魚の流通と付加価値向上」の講演が行われ、参加者は熱心に話を聞いていました。



田中修氏による講演

香川県漁協職員研修会の開催

8 月 7 日（水）漁連会館 6 階大会議室において漁協職員コンプライアンス研修会（主催：香川県漁協職員協議会、共催：香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会四国事業本部香川支店）が開催され、県下漁協役職員 73 名が参加しました。

主催者を代表して職員協 山下会長の挨拶後、講師の農林中央金庫高松支店 JF マリンバンク四国地区担当部長増田洋昭氏より「最近の個別不祥事案に見るコンプライアンスの要諦」の研修がありました。増田部長からは、最近の不祥事についてどのような事案が起こったのか、またなぜ起こってしまったのかを学び、そして不祥事発生の防止に向けての取り組み方なども研修しました。不正発生防止の為に、①内部統制の構築により不正を起こしてしまう「機会」をなくすこと②風通しが良くコミュニケーションのよい職場づくりにより「動機」や「正当化」をなくすことなども学びました。

また、身近なコンプライアンスとして SNS 利用上の留意点についても、昨今の SNS の普及により生活の一部となっていますが、軽い気持ちでの投稿が大きなトラブルに発展したり、情報流出につながったりする恐れがあるので使用には十分注意が必要だという説明がありました。

その後、香川県人権・同和政策課参事 宮本 浩氏より「みんなで築こう 人権尊重の社会～すべての人が笑顔で暮らせる社会をめざして～」の研修がありました。

漁協簿記講習会の開催

8 月 20 日（火）・21 日（水）と両日に渡り漁連研修センター視聴覚室において漁業簿記講習会（主催：香川県漁協職員協議会）が開催されました。

これは漁協職員を対象に、日々の業務で使用する漁協簿記を学ぶために開催され、約 20 名の参加がありました。公認会計士の岡本健司氏を講師に迎え漁協簿記の一般的な基礎講習と、実務的な講習を学びました。



※見張りは適切に実施してください

**眠気を
催さないために!**



**あなたはどちらを
選びますか?**



(((居眠り海難防止)))

船長・船橋当直者の注意すべき事項

- 居眠り運航防止策の徹底と常時適切な見張りの励行
- 国際VHF(ch16)の常時聴守
(他局からの呼出しがわかるようボリュームをあげておきましょう。)
- 自動操舵装置と船橋航海当直警報装置の適正使用

船舶所有者・運航者の配慮すべき事項

- 無理のない運航計画と配船配乗計画の策定
- 居眠りを防止するための船内環境づくり

第六管区海上保安本部、海難防止強固運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議、(公財)海上保安協会広島地方本部、(公社)瀬戸内海海上安全協会、(公社)瀬戸内海小型船安全協会、中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会事務局広島事務所、中国地方海難組合連合会、四国地方海難組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部・四国支部、NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会中国地方本部・四国地方本部

*このポスターは、(公社)瀬戸内海海上安全協会の助成により作製しています。